

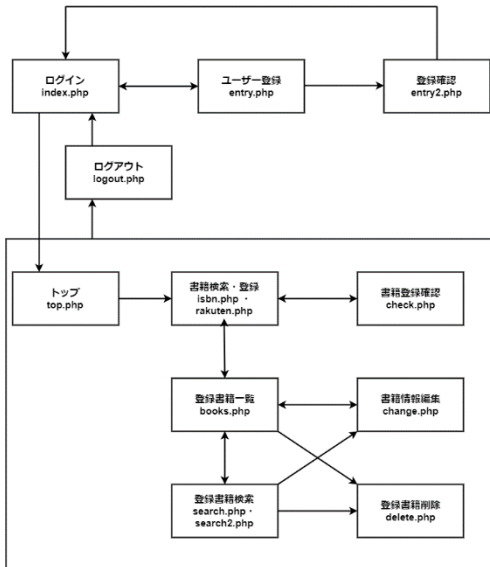
1. 目的

この研究の目的は本研究室3年時に情報セミナーIIの自由製作で行った書籍の登録管理ページ、その登録作業の簡易化を行うことである。自由製作で制作したものは書籍の登録を手入力で行わなければならない手間がかかった。そのため登録作業の簡易化を行うために楽天 API を利用し、登録管理ページの制作を行った。

で検索を行っている。検索・登録ページでは検索結果から書籍情報の登録を行えるようにしており、書籍毎にあるチェックボックスに印を入れた書籍と登録ボタンを押した書籍が登録される。書籍登録時には登録を行ったユーザーIDも登録し、一覧ページ側でユーザー毎に表示を行えるようにしている。

2. システム概要

本システムは下記の図のような構造になっている。



本システムは主に書籍検索・登録ページと登録書籍一覧ページの二つに分かれている。検索・登録ページで楽天 API を利用しての書籍の検索を行い、検索結果からデータベースへ書籍情報の登録を行う。書籍一覧ページで登録を行った書籍の閲覧・編集・検索を行うことができる。本サイトはスマートフォンでの閲覧も想定し、デバイスのスクリーン幅サイズで二つの CSS ファイルを使い分け、テーブルやフォントの大きさを変更している。

3. 書籍検索・登録ページ

検索・登録ページでは楽天 API を利用し、下記の図のように ISBN コードもしくはタイトル



4. 登録書籍一覧ページ

下記の図が書籍一覧ページの画面である。このページではユーザー毎に登録した書籍が10件ずつ表示されている。書籍毎にある編集項目から登録情報の編集・削除が行える。図の上部は検索部分であり、書名もしくは著者名から部分検索が行える。登録ページでも可能であるが、書名をクリックすることで楽天市場の書籍販売ページへ飛ぶことができる。



5. 課題

今回のようにシステムの制作を実際に行い、AND 検索やソート切り替えなどの機能を実装しようとしたものの理解が出来ず、力不足を感じることが多くあった。今回実装を断念した機能を理解し、実装をできるようにすることが今後の課題である。